

2017年3月期（第20期）
中間決算説明会

2016年11月14日
株式会社バイ・テクノロジー

決算概要

注意事項

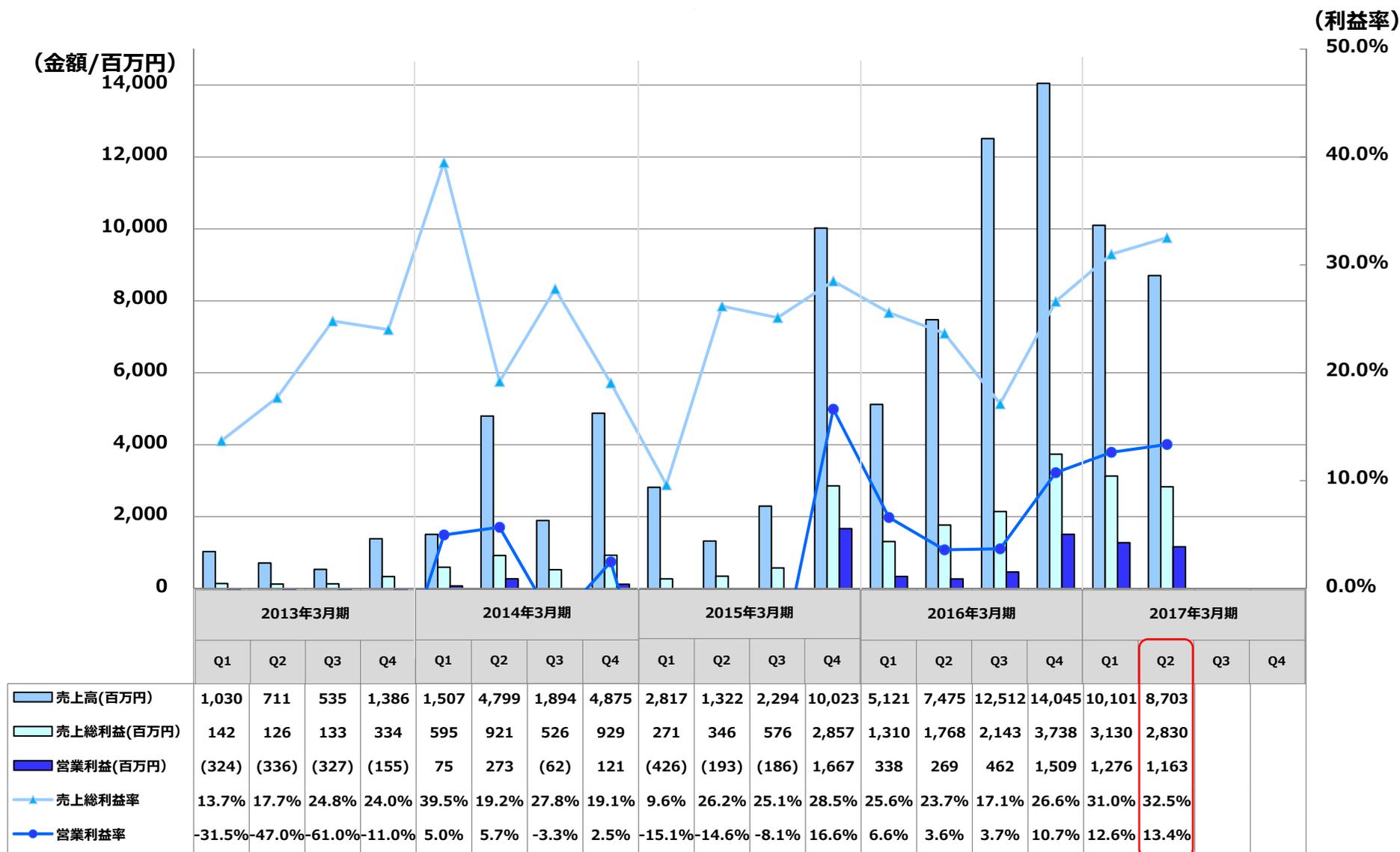
本紙面に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢の変化、競争環境の変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

連結業績ハイライト（前期比）

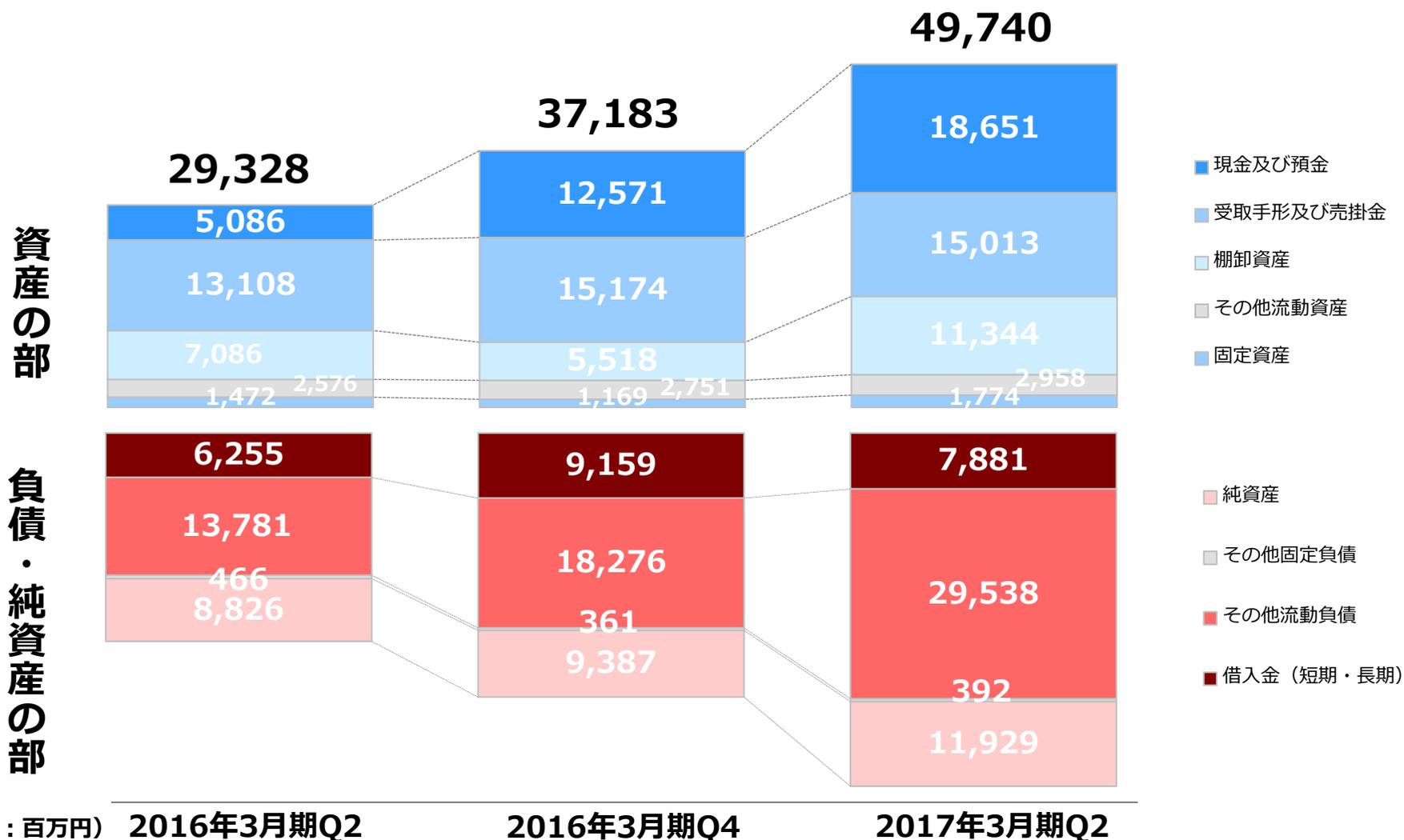
製品ミックスの改善、コストダウン等により、増収、増益。

| | 2016年3月期（第19期） Q2 累計期間 | | 2017年3月期（第20期） Q2 累計期間 | | 増減率 |
|----------------------|---------------------------|--------|---------------------------|--------|--------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 | 金額 (百万円) | 構成比 | |
| 売上高 | 12,596 | 100.0% | 18,804 | 100.0% | 49.3% |
| 売上総利益 | 3,078 | 24.4% | 5,960 | 31.7% | 93.6% |
| 営業利益 | 607 | 4.8% | 2,439 | 13.0% | 301.3% |
| 経常利益 | 539 | 4.3% | 2,108 | 11.2% | 290.7% |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 322 | 2.6% | 1,087 | 5.8% | 237.4% |

四半期毎連結売上高・利益の推移



連結貸借対照表の推移

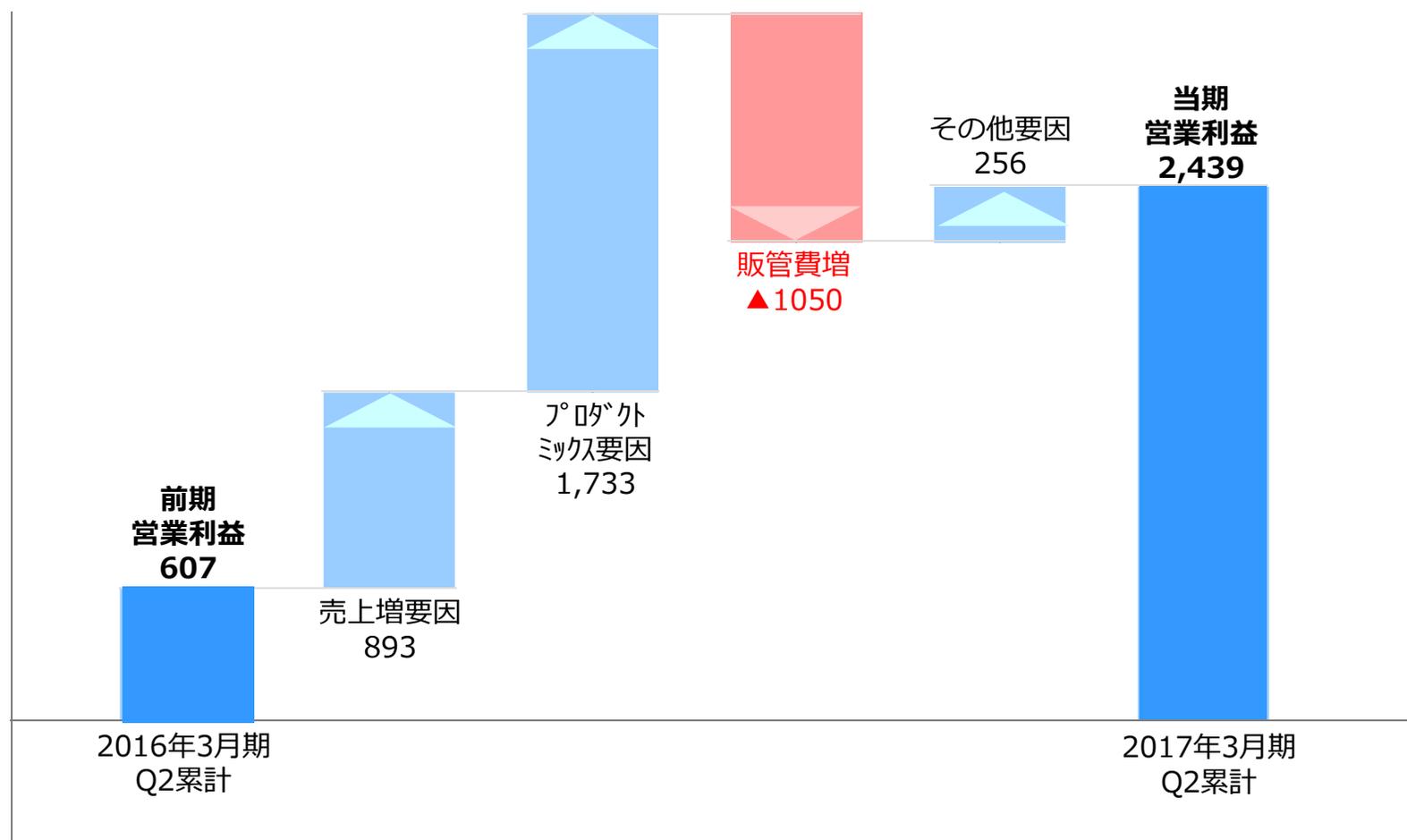


連結キャッシュフローの推移

| | | 2016年3月期Q2 | 2016年3月期Q4 | 2017年3月期Q2 |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 期首現金及び現金同等物残高 | | 4,375 | 4,375 | 12,571 |
| 営業活動による キャッシュフロー | 税金調整前純利益 | 529 | 1,796 | 2,175 |
| | 売上債権（増加▲） | ▲827 | ▲1,289 | 489 |
| | 棚卸資産（増加▲） | ▲3,048 | 711 | ▲856 |
| | 仕入債務（減少▲） | 520 | 1,497 | ▲1,463 |
| | その他 | 2,620 | 2,810 | 6,277 |
| | Total | ▲240 | 5,525 | 6,622 |
| 投資活動によるキャッシュフロー Total | | ▲643 | ▲445 | ▲4,246 |
| 財務活動による キャッシュフロー | 借入 | 5,560 | 15,172 | 3,608 |
| | 返済 | ▲4,333 | ▲11,782 | ▲5,333 |
| | その他 | ▲51 | ▲144 | 414 |
| | Total | 1,176 | 3,246 | ▲1,311 |
| 現金及び現金同等物に関わる換算差額 | | ▲48 | ▲131 | ▲104 |
| 現金及び現金同等物の増減核（減少▲） | | 277 | 8,196 | 960 |
| 四半期末現金及び現金同等物残高 | | 4,653 | 12,571 | 13,531 |

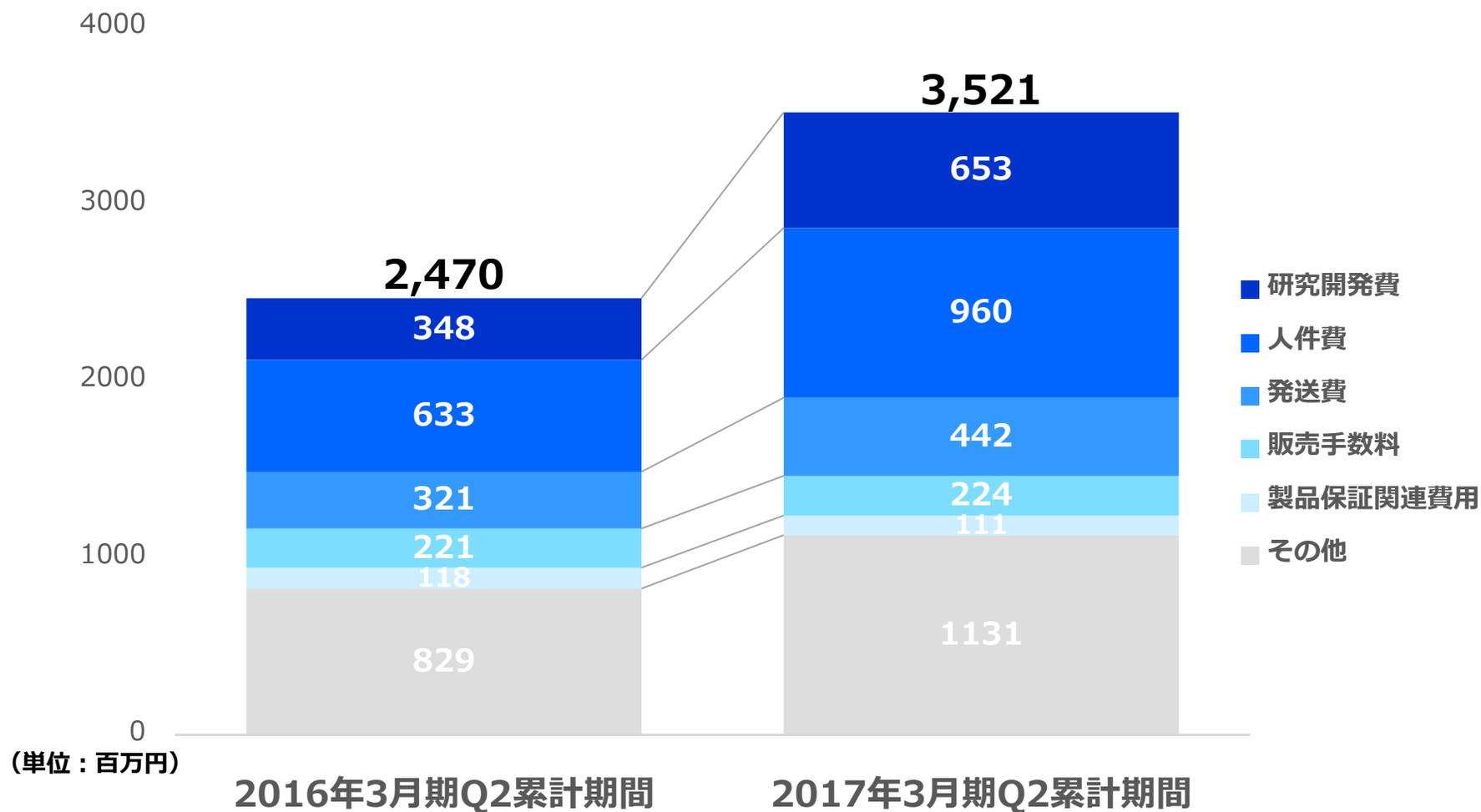
（単位：百万円）

連結営業利益の差異分析



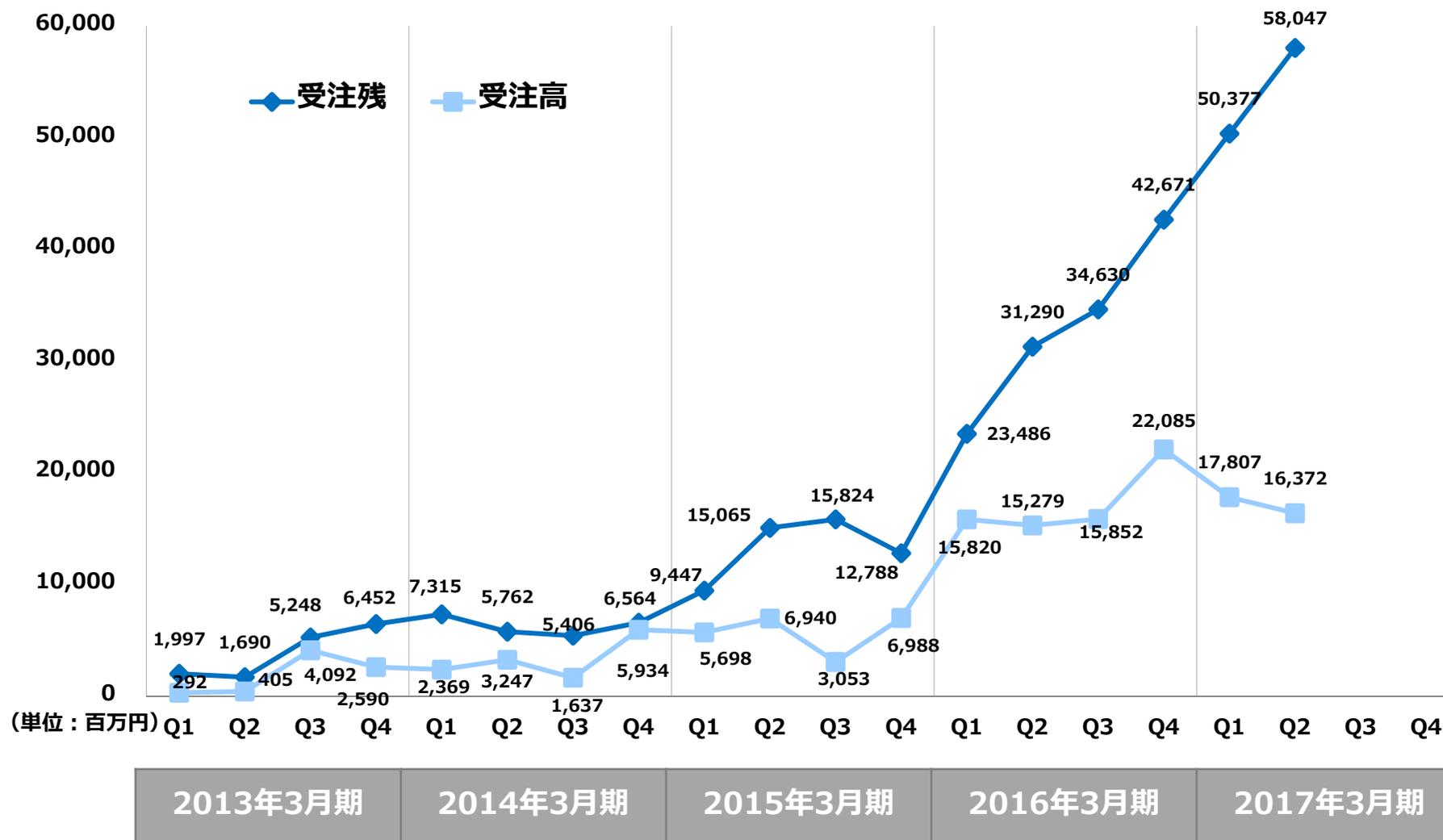
(単位：百万円)

販売費及び一般管理費



四半期毎連結受注残・受注高の推移

受注残は6四半期連続で過去最高額を更新。受注高はF P D装置市場の改善等により高水準を維持。



2017年3月期 業績見通し

| | 2016年3月期実績 | | 2017年3月期見通し | | 増減率 |
|------|-------------|--------|-------------|--------|-------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 | 金額 (百万円) | 構成比 | |
| 売上高 | 39,153 | 100.0% | 45,000 | 100.0% | 14.9% |
| 営業利益 | 2,578 | 6.6% | 4,000 | 8.9% | 55.2% |
| 経常利益 | 2,235 | 5.7% | 3,800 | 8.4% | 70.0% |
| 純利益 | 989 | 2.5% | 1,900 | 4.2% | 92.0% |

ご清聴ありがとうございました。

本資料の取扱いに関する注意事項

株式会社ブイ・テクノロジー（以下、甲という）より御社（以下、乙という）に向けて本資料を提示するにあたり、以下の点について確認する。

本資料における甲の業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含む。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得る。

乙は、本資料に秘密情報が含まれる内容ならびに本資料の提示を受けたこと自身が秘密情報であることを理解し、甲からの事前の書面による承諾を得ることなく、当該秘密情報をいかなる第三者に対しても開示または漏洩しないものとし、自己のためといえども、本資料において示された範囲内において、甲より提供される特許ならびに関連発明／技術ノウハウの実施許諾の可否に向けた検討の目的（以下、本目的という）以外に使用しないものとする。

乙は、上記秘密保持義務を遵守するため、善良なる管理者の注意をもって秘密情報を管理するものとする。

乙は、当該秘密情報を知る必要のある自己の役員および従業員のみを開示するものとし、当該役員および従業員に対して上記義務を遵守させるものとする。

乙は、本目的のために合理的に必要な範囲内でのみ、甲の書面による事前の承諾を得たうえで、秘密情報を複製することができるものとする。乙は、本項に基づき秘密情報を複製した場合には、開示者である甲の秘密情報である旨の表示を当該複製物に付するものとする。

甲は、本資料の内容ならびに秘密情報の利用に関して、完全性、正確性を保証しない。また、甲は、第三者の特許権、著作権、その他知的財産権の侵害、もしくは申請中の特許成立の有無を含め、いかなる瑕疵担保責任および保証責任を負わないものとする。また、甲は、いかなる場合においても、本資料に関連して提示した直接的、間接的、偶発的、特別の、あるいは懲罰的な賠償について、一切、責任を負わないものとする。

乙は、甲の同意の有無にかかわらず、秘密情報を使用もしくは参照することによって生じた発明、改良、応用およびこれらにかかる権利の出願、登録については、別段の書面による合意を除き、甲に権利があるものとしてその権利を甲またはその指定する者に対して承継、帰属させる（著作権法第27条および第28条の権利を含む）。

甲は、本資料ならびに機密情報に関する内容、条件等を予告なく変更することがある。